

2025年度 2月 第8回定例理事会議事録

開催日時：2026年2月17日 16時～18時

開催場所：日本人会事務局&オンライン

出席者：小和野、佐藤、今津、関根、前田、松浦、時任、宮森、田島、小林、小林（芳子）

- 本会議は定数不足（12名必要なところ10名の参加のため承認人数に満たない）が確認されたため、正式な審議・決議は行わず、方向性の確認と情報共有を中心とした会議となり、審議・決議は後日メールで行うこととなりました。

教育部報告

小和野副会長による正式な開会宣言の後、教育部から詳細な報告が行われました。JIAG理事会での審議事項として、2026年度予算案、2025年度プレジデント KPI 評価、2026年度雇用契約内容の一部変更（注釈追記）が報告されました。

教育事業の財務状況と生徒数推移

25年度予実管理報告（4-1月実績、2-3月予測）として、収入 89万 2209ドル（計画差異プラス 6万 1530ドル）、費用 85万 8295ドル（差異プラス 1万 5000ドル）で運営収支プラス 3万 3934ドルが報告されました。日本語会話教室の後期生徒数は当初 27名から 42名に増加し目標を上回りました。エアコン 3台の新規購入で 4,399ドルの支出も報告されました。

青年部報告

青年部からの GUNTA 協賛金継続提案

時任氏から GUNTA 団体への 1000ドル協賛金継続提案がありました。昨年度も実施しており、日本人会の理念と一致する活動内容であることから継続支援が提案されました。予算に既に計上済みのため、改めての審議は不要との確認がなされました。

マーチャントサービス導入の詳細検討

時任氏から春祭りチケット購入でのマーチャントサービス導入提案が詳細に説明されました。当初ドコモ社とアフィニティ社の提携提案がありましたが、ダイヤモンドスポンサーのバンクオブグアムを優先し協議した結果、非常に好条件（使用時のみ1台25ドル、月額料金免除）での提案を受けました。

オペレーション方法と端末台数の検討

チケットブースでの運用方法について、2台でクレジットカード専用列と現金列に分ける案と、全窓口で端末設置案が検討されました。打ち合わせでは2台案が検討されましたが、混乱回避のため全窓口設置の方が効率的との意見も出されました。バンクオブグアムからの人的サポートも期待されています。オペレーション方法については後日時任氏より改めて検討される予定。

文化商工部報告

日系人会イベント協賛提案

佐藤氏から日系人会主催の砂像づくりコンテスト（3月15日、イパオ公園）への500ドル協賛金支出が提案されました。総領事館も協賛予定で、審査員として富江会長、小和野副会長、佐藤副会長が内定し、残り2名を募集中です。関根氏と小林氏が協力を表明しました。

春祭りアートクラフトブース出展状況

佐藤氏から春祭りアートクラフトブースの進捗報告がありました。パパイヤクラブ、イトトウシ、マエズアートクラフト、エイコースズアートクラフトの4団体が出展決定し、引き続き募集中です。3月に説明会を実施予定で、ジャパンサンデー同様の運営を計画しています。

渉外広報部報告

渉外広報部の活動実績と SNS 運営

宮森氏から1月の記事更新4件、求人情報1件掲載が報告されました。新年祝賀会記事は調整中で今月中に完了予定です。SNSでは友達RUNリマインダーや春祭り告知を中心に活動し、フォロワー数は安定しています。アナリティクスでは特に大きな変動はありませんでした。

総務部報告

1099 フォーム未発行問題への対応

今津氏から立花氏への個人事業主契約に関する 1099 フォーム未発行問題が報告されました。1 月末期限を過ぎており、池端氏に作成依頼し 200 ドルの作成費用と 60 ドルの過料で計 260 ドルの支出が見込まれます。2 月中に作業完了予定です。

会員数拡大プロジェクトの進捗

佐藤氏から各企業への優待協賛依頼の進捗が報告されました。2 月 25 日締切のアンケートに 5 社から回答があり、東京マート 5%オフ、ジョイナス 10%オフ、ザツバキタワー 5%オフ、クラウンプラザリゾート 10%オフが確定しました。3 月中に詳細打ち合わせと契約書作成を行い、4 月 1 日リリースを目指します。

春祭りボランティアチケット配布アンケート結果

松浦氏から 11 名回答のアンケート結果が発表されました。ボランティアへの配布は賛成 8、反対 2、どちらでもない 1 でした。実行委員の飯塚氏からは「お祭りは赤字になってはいけませんが、収支を上げることを第一としてボランティアを強要してはならない、参加者に楽しんでもらうことが重要」との熱い意見が寄せられました。理事への配布も賛成 7、反対 4 という結果でした。

春祭り企業ボランティア説明会の日程調整

松浦氏から 3 月 18 日頃にオンラインで物販・ゲーム説明会を開催する提案がありました。毎年同じ参加者が多く、集合の負担を考慮してオンライン開催とする方針が決定されました。時間は午後 3 時頃で調整し、田島氏が昨年作成した説明資料を活用することになりました。

チケット印刷枚数の最終決定

富江会長からの提案により、コンプチケット 2 万 7000 枚（昨年 1 万 8000 枚から大幅増）、有料チケット 18 万 5000 枚（昨年より約 1 万枚減）で印刷発注することが決定されました。昨年実績 15 万 6400 枚を考慮し、食品ベンダー 3 社増加も踏まえた適切な枚数設定となりました。今津氏がチケット印刷を 18 万 5000 枚（有料）と 2 万 7000 枚（コンプ）で発注する予定。

日本人会理事会並びに JIAG 理事会あてレター内容と拝啓説明

小和野副会長から昨年7月総会での第三者委員会設立に関する経緯と、日本人会会員からのレターの内容が説明されました。総会から半年以上経過しましたが、まだ日本人会会員有志による第三者委員会発起の申し出がない状況であることも共有されました。レターでは、日本人会理事会から総会での懸念事項への正式報告がないことや、プレジデント制度、JIAG 字理解の管理監督機能などが指摘されていました。昨年時点で発起人候補者全員（3名）、日本人会理事会執行部あてに発起人自体の連絡があった旨が共有されました。

今後の進め方

レターにある処々の事項の内、日本人会理事会として対応すべきもの、対応できないことを理事からの諸見解を踏まえたうえで富江会長、小和野副会長から当該会員への説明をすることになりました。また、現状報告を日本人会員へ発信することとしました。

総領事館からの感謝とイベント協力確認

小林首席領事から2月10日の天皇誕生日祝賀レセプションへの多数参加への感謝が表明されました。また、日系人会の砂像づくりコンテストは総領事館からの声かけで始まったイベントで、日本人会の協力に対する謝意が示されました。

審議事項

本会議は定足数不足（12名必要なところ10名の参加）が確認されたため、正式な審議・決議は行わず、方向性の確認と情報共有を中心とした運営となりました。審議・決議は後日メールで行うこととなりました。

1) 春祭りボランティア担当（松浦氏）は春祭りのボランティアチケット配布の具体的方法と枚数について理事間でアンケートを実施のうえ、今月中に確定させる。

2) 日系人会主催の砂像づくりコンテスト（3月15日、イパオ公園）への500ドル協賛金支出の承認について、後日文化商工部（佐藤氏）より審議・承認のメールが発信される。